

少数台数のリコール届出の公表について (令和元年5月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和元年5月は10件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：酒井重工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月10日	4498	車名：サカイ 型式：－ 通称名：SW504	33	平成30年2月1日～ 平成31年2月14日
不具合の部位等	ロード・ローラの排気装置において、排気管固定用クランプとクランプ固定用ブラケットの強度が不足しているため、当該クランプ及びブラケットが折損するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行時の振動等により排気管に亀裂が発生し、最悪の場合、排気ガスが漏れるおそれがある。			

2. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月21日	外 2843	車名：BMW 型式：LDA-JC20 他 通称名：BMW 523d 他	25	平成30年5月23日～ 平成30年6月8日
不具合の部位等	原動機において、クランクシャフトセンサーのプログラムが不適切なため、クランクシャフトの位置が適切に検出されず、エンジンコントロールユニットに誤った信号が入力される。そのため、燃料の噴射タイミングと点火時期を正確に制御することができず、エンジンの回転が安定しなくなり、最悪の場合、走行中にエンジンが停止するおそれがある。			

3. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月21日	外 2844	車名：BMW 型式：LDA-TX20 他 通称名：BMW X3 xDrive 20d 他	43	平成30年4月24日～ 平成30年5月17日
不具合の部位等	制動装置において、ブレーキキャリパー製造時のメッキ加工管理が不適切なため、ブレーキシステムのキャリパー構成部品とブレーキフルードの間で気泡が発生するものがある。そのため、発生した気泡がブレーキシステム内に溜まり、最悪の場合、ブレーキの性能が低下するおそれがある。			

4. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月21日	外 2845	車名：BMW 型式：CBA-3C30 通称名：BMW M4	25	平成29年1月13日～ 平成29年2月3日
不具合の部位等	フロント緩衝装置において、スイベルベアリングの材料選定と寸法設計が不適切なため、耐久性が不足しているものがある。そのため、走行振動により、スイベルベアリングの緩衝装置（ストラット）を固定するクランプ部分に亀裂が生じ、走行中に異音が発生するおそれがある。			

5. 届出者：ワイ・エンジニアリング株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
5月23日	外 2842	車名：ユニモグ 型式：不明 通称名：U423 他	41	平成26年5月29日～ 平成30年5月27日
不具合の部位等	電気配線において、配線組み付け作業が不適切なため、フレームワイヤーハーネスがフレーム周辺部品と干渉しているものがある。そのため、車両振動等により当該ハーネスが損傷し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止するおそれがある。			

6. 届出者：富士車輛株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月27日	4502	車名：いすゞ 他 型式：NFG-NMR82N 他 通称名：エルフ 他	18	平成15年10月17日～ 平成30年5月15日
不具合の部位等	散水装置を取り付けた塵芥車において、保護ヒューズの選定が不適切なため、配線のショートなどの異常が発生した際に、過電流が流れ、最悪の場合、配線被覆が溶融し、発煙または発火に至るおそれがある。			

7. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
5月29日	外 2849	車名：フォルクスワーゲン 型式：ABA-3HDJHF 他 通称名：アルテオン 2.0/206kW 他	4	平成27年6月15日～ 平成30年9月13日
不具合の部位等	パノラマスライディングルーフの外装トリムを交換する作業において、部品カタログの表記が不適切なため、正規と異なるプライマーを使用したものがある。そのため、トリムとフレームの接着性が低下して剥がれ、最悪の場合、当該トリムが走行中に脱落するおそれがある。			

8. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
5月29日	外 2850	車名：フォルクスワーゲン 型式：GH-1JBFQ 他 通称名：VWゴルフ1.6 他	5	平成14年8月12日～ 平成14年10月15日
不具合の部位等	運転席エアバッグのインフレーター(膨張装置)の製造過程において、ガス発生剤の湿度管理が不適切なため、ガス膨張剤に湿気を含んだ状態で封入されたものがある。そのため、大きな温度変化を繰り返すと、ガス発生剤の劣化を助長し、エアバッグ展開時に想定以上の膨張力が発生しインフレーター容器が破損するおそれがある。			

9. 届出者：株式会社SUBARU

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月30日	4505	車名：スバル 型式：DBA-GT7 他 通称名：XV 他	99	平成30年7月11日～ 平成30年7月13日
不具合の部位等	左側リヤドアガラスにおいて、強化ガラス生産時の冷却工程が不適切なため、ガラス成形後の冷却不足により適切に強化処理がされなかったものがある。そのため、保安基準第29条で規定された強化ガラスの破砕試験に適合しないおそれがある。			

10. 届出者：FCAジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
5月31日	外 2860	車名：フィアット 型式：ABA-31212 通称名：500 他	4	平成31年1月22日～ 平成31年2月26日
不具合の部位等	動力伝達装置の右フロントドライブシャフトにおいて、製造管理が不適切なため、強度が不足した部材が使用されているものがある。そのため、使用過程においてシャフトが破損し、走行できなくなるおそれがある。			

【参考】

●令和元年5月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	11(-5)	8(-4)	3(-1)
輸入車	18(±0)	11(-4)	7(+4)
計	29(-5)	19(-8)	10(+3)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数（令和元年度）

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	30(+11)	23(+8)	53(+19)	4,894,225(+4,646,210)	77,234(+67,120)	4,971,459(+4,713,330)
5	11(-5)	18(±0)	29(-5)	95,608(-207,619)	30,418(-49,542)	126,026(-257,161)
小計	41(+6)	41(+8)	82(+14)	4,989,833(+4,438,591)	107,652(+17,578)	5,097,485(+4,456,169)

※ () 内は、対前年同月比